

踏み跡 <My Mountains>

九州(祖母)	尾平から祖母山・古祖母山	No.190
--------	--------------	--------

数ある九州の山の中で、山名にひかれたものは少なくない。
岳滅鬼山（がくめきやま）、酒呑童子山（しゅてんどうじやま）・・・大崩山（おおくえやま）。九州ゆえに変わった名前もあるのであげて行ったらきりがないかもしれない。祖母山（そぼさん）と傾山（かたむきやま）も山名にひかれて登ってみたい山にリストアップした。
祖母山の近くには古祖母山（ふるそぼさん）というピークもあり、さらにその西には親父山もある。何とも興味深い限りだ。
祖母山は阿蘇の東、大分県と宮崎県の県境にある。いよいよ阿蘇より先の山に踏み入ることになった。



昭和56年3月15日

天気は晴れ、6時15分に自宅を出発。大宰府インターから九州自動車道に入り熊本インターへ。そして国道57号線で阿蘇の火口原へ。熊本インターでは晴れていたが、阿蘇に入ったら曇ってきた。

火口原を突っ切り、外輪山の東側に出て豊後竹田の町に入ってもまだ曇り。

途中の路上で車を止めて昼食。(ニギリメシ二個とおしるこの缶詰)

小さな尾根を越えて奥嶽川の谷に入り、登山口の尾平（おびら）に11時に到着。もみぢやの下1Kmの所にある登山口の標識がある場所に福岡ナンバーの車が一台駐車しているので、その後ろの並べて駐車。ここは快晴、祖母山の頂上付近の稜線には霧氷が付いているらしく、真っ白に見える。



ハッサクを半分だけ食べて11時40分出発。人っ気のない静かな沢の水が美しい。

海拔1300m付近で風をよけて小休止。ハッサクの残り半分を食べて元気づけ。尾平越・本谷山・笠松山と連なる稜線がよく見える。尾平越の西側のガスが消えてきたら古祖母山も姿を現してきた。

(左写真：霧氷の向こうに傾山が)

踏み跡 <My Mountains>

主稜線上の宮原に13時50分到着。ガスで眺望はなく風が強いし、足元の残雪が凍っていて歩きにくい。祖母小屋15時着、今晚はここに宿泊。フランスパンと鶏肉を食べて小休止の後山頂を往復。祖母山頂は霧氷が素晴らしい。

16時、小屋に戻って夕食（味噌汁・おにぎり・肉の缶詰・漬物・コーヒー）。



焚火で暖をとって19時30分就寝。それでも23時・2時・5時と数時間毎に寒さで目が覚めた。2時頃までは強風が吹き荒れていたが、やがて静かになった。2時に目が覚めた時に外を見たら星空だった。

(左：祖母山頂上 右：意外に立派な祖母小屋)

昭和56年3月16日

5時30分、寒いので起床。天気は快晴、ポリタンの水は凍結。

朝食は、レトルトの五目飯に永谷園のインスタント味噌汁、デザートはコーヒー。



小屋代1300円を管理人室に入れて、7時15分出発。

再び祖母山頂上へ。昨日の夕方とは打って変わって素晴らしい展望。阿蘇は雲の中に隠れているが、久住・傾山・大崩山方面・脊稜方面の稜線などなど……。この山はとにかくよく見える山だ。9時15分烏帽子岩らしきところで再び休憩。本谷山、傾山、古祖母山……。この展望を残しておかねばと思い、地図の裏に走り書きのスケッチ。

(左写真：霧氷の稜線を雲が越えて行く)

(下写真：地図の裏のスケッチ。帰宅後に複写し色鉛筆で着色)

鳥帽子岩	↓	傾山	↓	笠松山	↓	本谷山	↓	新百姓山・夏木山・五葉岳	↓	大崩山	↓
↓		↓		尾平集落↓	↓			↓尾平越	↓	↓	古祖母山↓障子岳
								↓			↓



障子岳9時45分、ビスケットとハッサクを食べて大休止。見晴らしが良いと休憩時間が多くなる。10時35分出発。

古祖母山11時30分。日差しが豊かで雪も氷もない岩場、展望も良いし言い申し分なし、ここで昼食とする。高千穂の谷を眺めながらパンと味噌汁とコーヒー。

12時30分下山開始。稜線を東に進んで尾平越を13時20分に通過し、尾平の車デポ地点に14時20分に帰着。靴を履きかえて小休止の後15時15分出発。

ほぼ元通りのルートを走り、20時15分に福岡の自宅に帰着。(今回の旅での走行距離は422Km)

以上